



# 概算要求について意見を提出しました

本日、財務省宛に平成28年度予算概算要求についての意見を提出しましたので、ご報告します。



## 【件名】

## 平成28年度予算の物流に関する概算要求についての意見

## 【意見】

私は、東京都世田谷区で喜多見ポンポコ会議を主宰し、世田谷区の推薦で2002年から国土交通省(以下、国交省)主催PI外環沿線協議会の協議員となり、現在もPI委員として交通を中心とした分析を続けている者です。先日提出された概算要求の内、国交省道路局と物流審議官、環境省の物流に関する要求について意見を申し上げます。

### 1. これまでの経緯

東京外かく環状道路(以下、外環)の東京区間は、国内で初めて高速道路の構想段階からPI(市民参加)方式を導入したことから、PIはどうあってほしいかについても考えてきました。第一に、PIや合意形成の前に客観的で公正な情報が必要であり、第二に、関係者の間にある偏見や思い込みを取り除き、互いに冷静に耳を傾け考えるようなPIであってほしいと考えています。

しかし国交省は、不適切な表現を用いて市民の誤解を招くだけでなく、物流現場の思いも本心に聞いているのかという疑問を抱いてきました。東京都市圏交通計画協議会が2004年に行った「物流施設と輸送に関するアンケート調査」によれば、物流に関わる事業者は高速道路整備より料金値下げを望んでいたからです。

外環に関連する情報収集と分析が続けていたところ、多頻度小口化、時間指定の進展、積載効率の低下、大型トラックドライバー不足などが問題となっていること、事業者が大変努力されていることを知りました。

### 2. 都市物流提案と概算要求

国交省の物流担当が熱心に検討を進めておられましたので、私達も市民の立場から、今後の東京の都市物流はこうあってほしいという姿を関係各方面へ提案したところ、物流審議官・環境省連携で新たに「都市鉄道等の旅客鉄道の輸送力の有効活用」が概算要求41億円の中に盛り込まれました。

環境省は「物流分野におけるCO<sub>2</sub>削減対策促進事業」の背景・目的に「これまでは自動車を中心とする陸上輸送が主であったが、人口減少や高齢化等社会状況の変化により、物流システムも転換期を迎えており、このタイミングで低炭素価値を組み込むことが極めて重要。この状況を捉えて、わが国の最先端技術も活用しつつ、鉄道等へのモーダルシフトをはじめとして、物流システム全体を低炭素型に転換していく」と書いています。

### 3. 道路局の概算要求

一方で道路局は、「新しい日本のための優先課題推進枠」に「効率的な物流ネットワークの強化」として1,716億円(全体の要求額は3,779億円)、「迅速かつ円滑な物流の実現などのため、三大都市圏環状道路等を中心とする根幹的な道路網を重点的に整備。特に、計画的な整備のため事業進捗を図る必要のある事業を強力に推進」と書いています。

本当に物流のためでしょうか。

(次頁へ続く)

#### 4. 外環の整備効果

外環東京区間の整備効果については多くの疑問がありますが、ここでは国交省の資料をもとに3点だけ申し上げます。

- (1) 外環は渋滞緩和のために必要だといわれています。主な周辺道路22路線について外環がある場合とない場合の走行時間を比較した資料によれば、合計412.6kmで39分の短縮、1kmあたりにするとわずか5.7秒、信号待ちで相殺される程度の時間です。
- (2) 外環が接続する関越道、中央道、東名高速について、外環がある場合とない場合の予測結果によると、そのすべてで、外環を整備しないほうが交通量は少なく、外環を整備することによって増加します。
- (3) 国交省の国土交通政策研究所が東京圏における具体的な施策について予測したところ、3環状9放射等の道路整備を行った場合にCO<sub>2</sub>排出量が大幅な増加となっています。

外環は物流にとって多くの効果が期待できないばかりか、逆に事業者の負担を増す可能性があります。

#### 5. モーダルシフト実現に必要な費用

外環東京区間16kmの建設費は1兆3,731億円、内1兆357億円は税金を投入することになっています。旅客鉄道を貨物輸送に活用するためには貨物専用エレベーターの追加設置といったインフラ整備が必要です。駅の構造は様々ありますが仮に、1都3県にある2,066駅すべてにエレベーターを設置する場合の費用は約2,686億円、外環建設費に比べれば僅かな金額です。利用者の少ない駅では貨物と旅客の共用にすれば、すべての駅で高齢者や身体障害者に優しいバリアフリーも実現します。外環をはじめとする道路の必要性を精査し、勇気をもって凍結・放棄し、モーダルシフトに必要なインフラ整備費に転用して、東京から最先端の都市物流を発信することこそが我が国にとって優先すべきことであり、「新しい日本のための優先課題推進枠」に最もふさわしい使い道だと考えます。

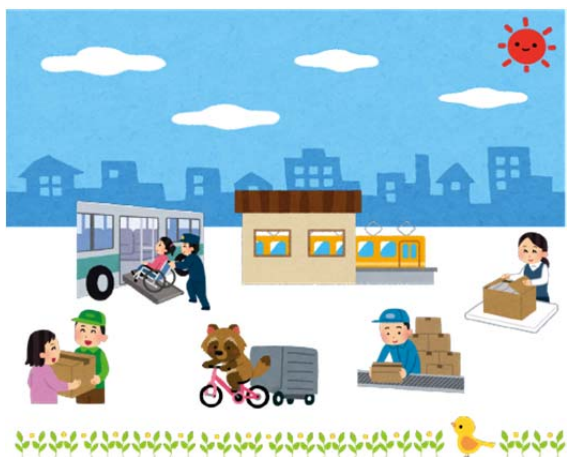
その他、詳細は以下をご覧ください。幸いです。

- ・ ウェブサイト「PONPOKO REPORT」
- ・ 書籍『公共事業と市民参加』2007.6、学芸出版社

以上



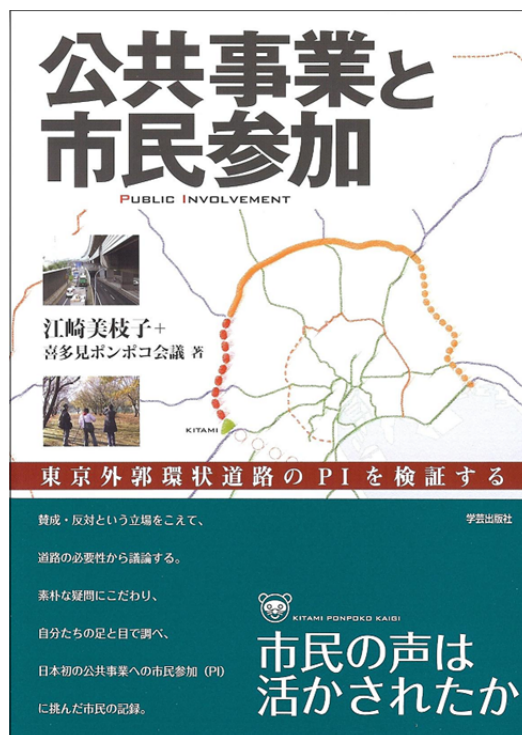
## PONPOKO REPORT



人にも環境にも優しい  
モーダルシフトを応援しよう！

外環を考えるデータ集

ウェブサイト「PONPOKO REPORT」



書籍『公共事業と市民参加』

